

潤生園東部ホームヘルプサービス（定期巡回・随時対応型訪問介護看護）			
平成 30 年度 第 2 回 介護・医療連携推進会議			
日 時	平成 30 年 10 月 10 日（水）14:50～15:25	司会進行	書記
場 所	みんなの家田島 地域交流スペース	W	W
出席者	<p> <input checked="" type="checkbox"/>A 様ご夫妻（ご利用者の家族） <input checked="" type="checkbox"/>B 様（国府津 12 区自治会 会長） <input checked="" type="checkbox"/>C 様（国府津 12 区自治会 副会長） <input type="checkbox"/>D 様（民生委員） <input type="checkbox"/>E 様（民生委員） <input type="checkbox"/>F 様（小田原市地域包括支援センターそが・しもそが・こうづ） <input type="checkbox"/>G 様（小田原市地域包括支援センターさかわ・こやわた・ふじみ） <input type="checkbox"/>H 様（小田原市地域包括支援センターさかわ・こやわた・ふじみ） <input type="checkbox"/>I 様（医療関係 小田原医師会訪問看護ステーション 管理者） <input checked="" type="checkbox"/>J 様（医療関係 潤生園訪問看護ステーション 管理者） <input checked="" type="checkbox"/>K 様（当該事業に知見を有する者 山近訪問看護ステーションケアマネジャー） <input type="checkbox"/>L 様（当該事業に知見を有する者 有限会社なかはま商会ケアマネジャー） <input checked="" type="checkbox"/>M 様（当該事業に知見を有する者 小田原市鳴宮ケアセンターケアマネジャー） <input type="checkbox"/>H（事業者 潤生園ホームヘルプサービス 部長） <input type="checkbox"/>N（事業者 潤生園ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/>W（事業者 潤生園東部ホームヘルプサービス 管理者） </p> <p>参加者 10 名</p> <p style="text-align: right;"><input type="checkbox"/>出席、<input checked="" type="checkbox"/>欠席</p>		
目 的	<p>介護・医療連携推進会議は、地域の連携をはかるため、定期巡回サービスの関係者や地域に住む方々に対して、介護サービス状況を報告して評価を受けると共に、必要な助言等をいただく機会として、6 ヶ月 1 回程度開催することになっています。</p>		
資 料	<p> ・アジェンダ ・出席者名簿 ・平成 30 年 9 月分活動状況報告書（第 3 号様式） ・平成 30 年度 運営状況実績表 ・ケアコール機（定期巡回・随時対応型訪問介護看護とは） ・サービス評価表 </p> <p style="text-align: right;">以上、事前配付 当日配付</p>		
議題及び議事内容		議決事項	
1. 開会の挨拶（14：50～14：55）：H 部長			
<p>・開会にあたって、開催の趣旨と連携推進会議の開催日について説明。</p>			
2. 出席者の自己紹介（14：55～15：00） ご参加者全員の自己紹介 上記参照			
3. 活動報告及び運営状況説明（15：00～15：05）：資料参照、司会者より説明 別紙資料参照			

- ① ご利用者12名の要介護度（平均要介護度2.08）、男女別、世帯別、年齢別の紹介
- ② 9月のご利用者の定期巡回の訪問回数系620回、随時訪問回数11回、コールの内訳等随時対応の回数11回の説明
- ③ 事故の状況の説明：別紙活動状況報告書参照

4. ケアコール機の説明（15：05～15：10）：別紙資料参照、

- ① ケアコール機を皆さんにお見せし、ケアコール機で一般回線に繋いで電話できることを説明、ボタンではお話しできないが、トイレなどで立ち上がりができなくなってもボタンを押して、声が聞こえなくても、介護員が訪問して、安否確認を行うことを説明。オペレーターに電話を掛けて、実際のオペレーター対応をお見せしました。施設同様に、廊下が道路、ナースコールがケアコールで、安全に、安心して在宅生活を継続できるように仕組みが構築されていることを説明。
- ② 質問（F様）：一般電話の契約がなく、携帯電話しかない場合は、どうなりますか。
⇒（H）携帯電話でも、事前登録してあれば、番号をお知らせして、コールを受けることができます。電話がない場合は、ソフトバンクの見守り携帯をお貸しすることも可能です。

5. 活動状況に関する評価及び主な要望、助言等（15：10～15：23）：ご参加者

- ① J様（医療関係者）：実施記録が無くなったため、利用者の情報は、パソコンやタブレットを開かないと分からない。現場に多職種の人が出入りしている場合は、訪問時、一覧性のある資料（1週間単位）を現場において欲しい。
- ② L様（当該事業に知見を有する者）：URLで実施記録を見ているが、重要度が分からない。毎日確認することが難しい。ご利用者の血糖値と体重（ご飯の量）だけでも知りたい。
⇒（H）記録の入れ方については、指導が課題になっています。検討していきます。
⇒（H）バイタル等については、別の欄でまとめて閲覧できるようにしています。
- ③ D様（民生委員）：ケアコール機で、音や声が聞こえるのはいいですね。
- ④ E様（民生委員）：高齢になり、病気を持っていると、お金の問題で悩んでいる方が多いですね。知っている方は、病院に入院されました。
- ⑤ F様（地域包括支援センター）：今日、ケアコール機を見せていただいて、仕組みが分かり、良かったです。
- ⑥ G様（地域包括支援センター）：遠方のご家族とも情報共有しているのですか？
⇒（W）URLをご家族にお知らせし、サービス内容の情報を共有してい

ます。遠方のご家族も見ることができます。

⑦ H 様（地域包括支援センター）：定期巡回の訪問回数が、素晴らしい。

6. 次回開催予定日のお知らせ（15：23～15：25）平成 31 年 4 月開催します。
詳細については、またお知らせします。